

2026.2.24

報道関係者 各位

< 配信枚数 2 枚 >

**学校法人立命館と京都府が連携・協力に関する包括協定を締結
～デザイン・アートを起点に地域活性化と社会価値創出を推進～**

学校法人立命館（所在地：京都市中京区、理事長：森島朋三）と、京都府（所在地：京都市上京区、知事：西脇隆俊）は、2026年2月24日に、連携・協力に関する包括協定を締結しました。

本協定は、2026年4月開設のデザイン・アート学部/デザイン・アート学研究科を軸に、文化芸術振興、人材育成、産業振興、地域共創など多様な分野で連携を進め、地域社会の持続的発展と新たな価値創出を目指すものです。



立命館では 2025 年度より、①アートコンテンツの創出・発掘、②アート企画・実施、③エリア周遊を通じた地域活性化を目的とし「KINUGASA Redesign Project」を始動しました。本プロジェクトのもと、衣笠キャンパスおよび京都市北西部エリアにおいて、芸術文化都市としての価値を再発信する取り組みを進めています。

その一環として開催した第 1 回「KINUGASA ART VILLAGE FESTIVAL」では、神社仏閣や美術館など地域の文化施設と連携し、学生と地域の皆さまが参画するアートイベントを実施し、約 12,000 人が来場しました。また、第 1 回京都駅ビル芸術祭「ゲイジツ ノ エキ 2025 (GNE)」においても、立命館大学交響楽団と能楽師とのコラボステージや、立命館大学アート・リサーチセンターと現代アーティストの協働企画、立命館大学神社仏閣サークルによるガイドツアーなど、プロジェクトに連動した多様な取り組みを展開しました。

これらの実績を基盤として、2026 年 4 月に開設するデザイン・アート学部/デザイン・アート学研究科を中心に、教育・研究と地域連携を結び付け、文化資源を生かした新たな価値創出と人材育成の推進を目指しています。今回の協定締結を契機に、プロジェクトの取り組みを京都府全域へと広げ、京都府とともに文化芸術振興、人材育成、産業振興などの分野における実践を具体化し、府域全体の活性化と持続可能な社会の実現につなげていきます。

本協定は、小学校、中学校・高等学校、大学を含む立命館学園として、教育・研究資源を生かし、府域での取り組みを体系的に進めることを目的としています。各校の特色を生かした連携を横断的かつ一体的に推進し、学園全体として取り組みを展開します。

【具体的な協定内容】

本協定に基づき、学校法人立命館と京都府は、次の事項について連携・協力を進めます。

(1)文化芸術振興に関すること

- (2) 人材育成に関すること
- (3) 学術研究・教育・スポーツの振興・発展に関すること
- (4) 産業振興に関すること
- (5) 環境保全に関すること
- (6) 地域連携・地域貢献・社会共創に関すること

【今後の取り組みについて】

(1) デザイン・アート学部/デザイン・アート学研究科を中心とした取り組み

2026年4月に開設するデザイン・アート学部/デザイン・アート学研究科を中心に、京都府とともに府域全体を教育・研究・社会連携の実践の場として位置付け、具体的な取り組みを順次展開していきます。京都府内の文化施設や地域資源と連携した実践的な教育・研究を進め、衣笠キャンパスや府立堂本印象美術館での取り組みを起点に、その成果を府内各地へと広げていきます。

(2) 一貫教育を生かした取り組み

立命館の一貫教育を生かし、STEAM教育やアントレプレナーシップ教育を軸とした連携を拡充します。児童・生徒・学生が地域社会と関わりながら学ぶ機会を広げることで、創造性や主体性を育む実践的な教育を推進します。さらに、文化芸術とイノベーションを結び付ける取り組みとして、スタートアップ関連事業や産学官連携の枠組みも活用し、若い世代が地域課題の解決や新たな価値創出に挑戦できる環境を整えていきます。

(3) その他

立命館アジア太平洋大学の多文化環境と国際学生の特性を生かし、文化芸術や観光分野での協働、府域の魅力発信、国際的視点を取り入れた取り組みなど、今後の連携可能性を検討していきます。

学校法人立命館は、デザイン・アート分野の知見と一貫教育の強みを基盤に、府域を中心とした社会連携を推進し、地域社会の価値創出と持続可能な社会づくりに向けた貢献を一層強化してまいります。

● 学校法人立命館 理事長 森島朋三 コメント

立命館は2026年4月、デザイン・アート学部/デザイン・アート学研究科を開設し、AI時代を切り拓く創造力と表現力を育む新たな挑戦に踏み出します。今まさに求められるのは、アートの力で未来をつくる人材です。その芽は大学だけでは育ちません。小・中学校から一貫して創造性を磨くことが重要です。本協定をその力強い第一歩とし、衣笠キャンパスをアートあふれる学びの場へと再構築し、地域とともに新しい文化価値を創出してまいります。

● 京都府知事 西脇隆俊 コメント

京都府では、平成26年に立命館大学と包括協定を締結し、産業振興や人材育成、地域連携の推進など幅広い分野で連携してまいりましたが、この度、デザイン・アート学部/デザイン・アート学研究科の新設を機に、附属校を含む学校法人立命館との協定にアップグレードできますことを嬉しく存じます。

本協定を契機として、学校法人立命館との連携を更に深め、「文化が活きる京都」の取組や人材育成などを進め、京都の文化の力の一層の強化につなげてまいります。

本リリースの配布先：京都大学記者クラブ、文部科学記者会

●取材についてのお問い合わせ先

学校法人立命館 広報課 担当：覚(かく)・勝屋 TEL. 075-813-8300 Email. r-koho@st.ritsumeai.ac.jp